

戦後77年平和を願う

1945年の終戦から77年が経過しました。この間、平和な時代を私たちは過ごしてきましたが、ロシアとウクライナの激しい戦争を目の当たりにする中で、戦争とは現代においても実際に起きるもの、そして何の罪もない多くの市民が犠牲となり、昨日までの幸せが一瞬で奪われてしまうことを思い知らされています。

そのような中で今年も連合は、沖縄、広島、長崎での平和行動に取り組みました。コロナ禍の中で人数を絞らざるを得ませんでしたが連合熊本からも沖縄行動に9人、広島行動に5人、長崎行動に14人の仲間が参加しました。参加者は平和の尊さ、戦争の愚かさ、恐ろしさを胸に刻み、取り組みを強化していく必要性を感じた行動となりました。

それぞれの行動の参加者に寄せていただいた感想を抜粋してご紹介します。

平和行動 in 沖縄

ひめゆり学徒隊、負傷兵、住民などの証言も含め、改めて「命どっ宝」を感じました。平和の大切さが受けつがれていることを感じ、感動を覚えました。

チビチリガマの悲しい歴史を聞いて胸が強く痛みました。沖縄の問題に私たち自身無関心ではいけないということを切に感じました。戦争を繰り返さないために何が出来るのかを自分なりに考えていきたいと思えます。



沖縄行動参加者

日米地位協定の問題点について向き合うことの必要性を感じました。沖縄の実相に触れて感じて学ぶことで学べる事の出来ない貴重な経験ができました。



平和の礎

日米地位協定の不平等差や問題点なども知ることができました。チビチリガマの歴史では私自身も1歳の子供がいるので、どのような思いで自分の子供に手をかけたかと思うと、とても悲しい気持ちになりました。

〈沖縄行動参加者〉※敬称略

呑田 美紀子(熊教組)、福永 浩之(UAゼンセン)、藤本 博士(情報労連)、小林 佳佑(紙バ連合)、幸恵 勇樹(青年委員会)、柿田 将博(連合熊本地協)、峯 きこ(連合熊本地協)、猿渡 研一(連合熊本)、石田 量子(連合熊本)

平和行動 in 広島

被爆体験者が高齢化する中、このような話や悲惨さを学んだ私たちが受け継ぎ、核兵器がない安心して暮らせる世界を実現させる責任が、私たちにはあるのだと思えました。

全ての人々が今一度核兵器について見つめ直し、より良い平和実現に向けた解決策を考え続けていかなければならないと思えました。私自身も今はない答えを模索し続けていきたいと思えます。



広島集会



広島平和行動参加者

高校生平和大使の言葉から、私たちにできることは微力かもしれないが、事実と実態を語り継いでいくことは大きな役割と意義があると感じました。核兵器廃絶と恒久平和を希求する活動を取り組んでいるにも関わらず危機的な状況と変貌している世界の現状にもどかしさを感じました。

〈広島行動参加者〉※敬称略

蔵元 慎也(自治労)、大無田 隼人(自動車総連)、福田 赴文(私鉄総連)、矢加部 智(肥後有明地協)、田中 広幸(連合熊本)

平和行動 in 長崎

人々の生活や未来を一瞬で奪い、苦しみを与え続けてきた核兵器は2度と使ってはならない兵器であり、元凶である戦争も行ってはならないという思いを新たにしました。

語り部の方のお話から、子どもたちが辛い体験を抱えて生き抜いたことを知りました。長崎に集う人々と一緒に平和の尊さを学べる有意義な経験でした。

高校生平和大使の「微力だけど無力じゃない」という言葉に感銘を受けました。平和行動で考えさせられたことを自分の子どもたちと語り合い、子どもたちが次の世代に語り継いでいくことを願うばかりです。



長崎平和行動参加者



参加者も折りを入れて鶴を折りました

改めて戦争や原爆の悲惨さを痛感させられたとともに、このような運動を継続して後世に引き継いでいかなければとの思いを再認識させられました。高校生平和大使メッセージの「ピリョクだけどもリョクじゃない!」の思いを持って、まずは自分から取り組み、核兵器廃絶や恒久平和への実現に向けて関わっていききたいと思えます。

語り部さんのお話から戦争被災者の気持ちはいつも同じであることを感じました。核の無い、やさしさに溢れた世界になることを祈ってやみません。

「①戦争に勝ち負けはない。あとに残るのは悲しみだけ。」「②平和は人類共通の世界遺産である」「③広島が最初の戦争被爆地、長崎が最後の戦争被爆地になるかは私達の未来次第。第3の被爆地を決してつくらない。」特にこの3つの言葉が心に残りました。

過去の歴史を風化させることなく、伝え続ける事が、核兵器廃絶、世界平和実現に繋がるのだと強く感じた二日間でした。一日でも早く、戦争のない、平和な世界となりますように。

〈長崎行動参加者〉※敬称略

島崎 真(自治労)、高沢 亜樹(自動車総連)、緒方 隆生(電機連合)、尾池 英幸(情報労連)、永井 秀隆(UAゼンセン)、渡邊 一寿(電力総連)、藤田 博子(熊教組)、中野 朋秋(紙バ連合)、井手 正成(JR連合)、木下 昂大(森林労連)、境康 太郎(全労金)、田中 仁史(菊阿地協)、徳富 幸平(連合熊本)、石田 量子(連合熊本)

全国の底上げをリード！32円の引上げで決定

熊本地方最低賃金審議会（構成15人のうち連合熊本5人）が行われ、熊本県における2022年度の地域別最低賃金の改定額が、32円の引上げで決定しました。これにより、2022年10月1日からの最低賃金は時給821円から32円引き上げられ、853円となります。昨年に引き続き、コロナ禍の中での審議となりましたが、今年は中央審議会が都道府県のランクごとの引き上げ目安として、東京などの大都市のA、Bランクが31円、熊本県を含むC、Dランクは30円が示されました。これを受け、熊本では7月27日の専門部会から、具体的な審議がスタートしました。労働者側からは、賃金上昇、物価上昇（生計費）、県内の社会情勢などの三要素に加え、地域間格差是正をかなり意識した見解を表明し、これを根拠に目安への更なる上積みも訴えました。特に、熊本県では、有効求人倍率の高さや、国家事業とも言える半導体企業の進出など、熊本の強みを訴えました。使用者側からは、賃上げや物価上昇などから最低賃金の引き上げには一定の理解はするものの、依然として宿泊・飲食サービス業は厳しく、これらの業種への配慮も必要であり、大幅な引上げは出来ないとの主張でした。全会一致を目指し5回の協議を重ね、最終的には使用者側も目安額の30円の引き上げまで歩み寄りしましたが、「地域間格差是正のためは率ではなく金額差にこだわり、目安への上積みが必要だ」とする労働者側との開きが大きく、最

最終的に公益委員側から「目安プラス2円の32円の引き上げ」で採決提案が出され、採決を行うこととなりました。結果、使用者側は全員反対でしたが、賛成多数で結審となりました。他の地域が目安通りで結審する中、目安への上積み2円を全国で最初に引き出し全国的な底上げをリードすることができました。また、昨年とのおおきな違いとしては、労働者側が、「賃上げ」「物価高」「有効求人倍率の高止まり」「TSMC進出」などといった熊本独自の背景について、最低賃金決定の三要素（賃金・生計費・支払い能力）に基づき明確な根拠を示したことや、地域間格差については改善率ではなく「金額の差が地域間の格差である」ことに拘って主張をしたことでした。一方の使用者側については、昨年と一昨年まで、熊本は三重苦（熊本地震・コロナ禍・県南豪雨災害）を理由として、据置き0円から一歩も動きませんでした。今年は「目安を超える引き上げはすべきではない」としながらも、最終的には目安通りの「30円」については認める態度であったことも大きな違いでした。審議を終え、報道各社のインタビューに対し、山本事務局長は、「今回の引き上げ額は、中央で示された各都道府県の目安額のうち、最も高い31円を上回っているため一定の評価はできるが、生活必需品の価格上昇が低所得者を直撃しており、今後も影響が続くことを考えると、32円が十分とは言えない。」とコメントしました。

九州各県の最低賃金の状況

県名	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
現行額	870	821	821	821	822	821	821	820
引上げ額	30	32	32	32	32	32	32	33
2022年度最低賃金額	900	853	853	853	854	853	853	853
引上げ率	3.45%	3.90%	3.90%	3.90%	3.89%	3.90%	3.90%	4.02%
発効日	10月8日	10月2日	10月8日	10月1日	10月5日	10月6日	10月6日	10月6日

発効日：発効年月日に労働した分の賃金から、最低賃金を下回る賃金は強制的に最低賃金に引き上げられます。



社会の関心の高さから多くの報道陣が取材に



KABから取材を受ける山本事務局長

編集後記

ウクライナの戦況を目にするたびに「平和を守るためには、どれだけの武器が必要なのか。本当に武器は必要なのか」という問が突き付けられます。そのような中、長崎平和行動に参加してきました。原爆資料館の一角には「平和を祈るものは針一本も隠し持つてはならぬ。武器を持っているのは平和を祈る資格はない」という永井隆博士の言葉がありました。これが正解とは言いませんが、少なくとも被爆した人たちの真実の叫びです。故・緒方貞子元国連高等弁務官は「世界から戦争はなくなるが、なくせると本気で信じる人にしか、世界を変えることはできない」という言葉を残しています。なくせると本気で信じ、行動していきたいものです。(talk to me)

Topics RENGOKUMAMOTO

連合熊本公式twitter、instagramやってます。

twitter



<https://twitter.com/RengoKumamoto>

Instagram



https://www.instagram.com/rengo_kumamoto/

今後の主なスケジュール

- 9月6日 9月期県議会対策会議
- 7日 特定（産業別）最低賃金対策会議
- 10日 連合熊本第2回青年委員会三役会議
- 〃 連合熊本第4回青年委員会幹事会
- 〃 連合熊本青年委員会学習会
- 17日 連合熊本推薦議員団会議「学習会」
- 29日 連合熊本第12回執行委員会
- 〃 連合熊本第3回構成組織・地協代表者合同会議